

今年には雪が少ないためか、マガンの北帰行が早めに始まりました。北へ帰る群れは北から北西方向へ高度を急激に上げてすぐに編隊を作り、中継地である秋田県八郎潟へ向かいます。

Vol.105  
平成31年3月号

## 第13回 伊豆沼・内沼研究集会在開催されました



伊豆沼・内沼で植物や動物及び底質の改善などに取り組んでいる研究者が一堂に会する第13回伊豆沼・内沼研究集会在、2月17日に開催されました。約30人の参加があり、8題の発表がありました。

前半は、環境省のプロジェクトである「環境研究総合推進費」に関する5題の発表がありました。このプロジェクトでは、湿地の保全や再生のため、低コストで効率的に湿地を管理するための技術開発を行っています。ロボットボートを使った水草管理、遠隔操作したカメラによってマガンの飛来数の推定やドローンを使った観察が困難な沼中におけるチュウサギのモニタリング及び、ドローンから得られた画像を使った多数のマガンの自動カウント並びに、ドローンが水鳥に接近可能な距離とその忌避要因に関する研究発表がありました。限られた研究者による湿地の保安全管理には限界があるため、このような技術開発は今後より一層重要になると考えられます。

その他では、巻貝類を中間宿主、鳥や哺乳類を終宿主とする寄生虫や、水田生態系の一次生産者を安定同位体比から推定する研究について、発表がありました。宿主の行動すら変えてしまうことのある寄生虫や、豊かな水田の生態系に関するこれらの研究は、大変興味深いものでした。詳しい内容は近日中にHPにおいて公開する予定ですので、関心をお持ちの方はご覧ください。

## コクガンの生態や伊豆沼・内沼の環境保全を講演

1月31日に南三陸町で県主催のコクガン勉強会、2月2日に登米市で登米市主催の生物多様性に関する講演会、2月5日に仙台市で東北大学野鳥の会主催の鳥類に関する講演会それぞれで講演いたしました。これまで明らかになったコクガンの生態や伊豆沼・内沼の自然や保全を紹介しました。



## — 野火による一斉清掃にご協力ください

伊豆沼第2・第3工区堤防で、漁協、地元土地改良区及び財団による野火（堤防の焼却）を登米・栗原市と共催で実施します。火災と間違えないよう、お願いします。



日時 3月16日(土) 8:00～12:00  
荒天の場合は、3月23日(土)に順延  
場所 伊豆沼第2・第3工区堤防敷き

## — 第60回 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン

第60回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンを開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。服装は動きやすい身軽なもの、軍手、長靴、火ばさみなどをご持参ください。駐車場は限りがございます。出来るだけ乗り合いでお越しください。

日時 3月21日(木) 春分の日 ※小雨決行  
雨天の場合は、3月24日(日)に順延  
開会 8:30 (受付 8:00)

集合場所 各3ヶ所のサンクチュアリセンター



参加者募集

## — 伊豆沼・内沼生きもの図鑑 昆虫マンション



北国の冬は厳しく、枯れ草と雪原の広がる伊豆沼周りの湿地には、生き物の気配は感じられません。夏にたくさんいた昆虫たちは、どこに行ったのでしょうか。左写真は、伊豆沼のヤナギにできた洞（ほら）を写したものです。洞穴中を掻き出したところ、マイマイカブリの仲間が出てきました。また、周辺の朽木を割ったところ、沢山のオサムシやムカデ、カメムシ、ついにはクワガタムシまで這い出してきました。たくさんの昆虫がひしめき合っている朽木は、さながら昆虫の集合住宅といった感じです。優良物件ともなると、50cmほどの小さな朽木に20匹以上のオサムシがひしめき合っていました。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター  
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217  
ホームページ: <http://izunuma.org/>  
E-mail: [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)

